

環境研究総合推進費令和 7 年度事後評価個票

研究課題番号	5-2203
研究課題名	タイヤ摩耗粉塵を含む非排気由来の粒子排出実態に関する研究
研究実施期間	2022 年度～2024 年度
研究代表機関名	(一財)日本自動車研究所
研究代表者名	伊藤 晃佳

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

非排気粒子であるタイヤ摩耗粉塵排出係数などを学術的・実務的に体系化し、その試験法の成果とタイヤ力を考慮した車両活動量 DB から、全国排出量の推計し、非排気粒子に関する新たな知見を得ている。様々な運転条件、路面状況を考慮して数多くの貴重な成果が得られ、環境政策への応用可能性が高く、実証性と拡張性の両方を備えた優れた成果と言える。海外の手法やデータとの比較、成果の社会実装などを補完することで、学術的意義と社会的インパクトの両面でさらに強い成果となると期待される。成果の論文文化を期待する。